

文 献

- 廣田 勇・山中大学, 1988: ヘルシンキ COSPAR 中層大気シンポジウムの報告, 天気, 35, 709-713.
- 石原正仁・榊原 均・田畑 明, 1987: 第23回レーダー気象会議に出席して, 天気, 34, 369-374.
- 道本光一郎, 1988: 40周年記念レーダー気象会議に参加して, 天気, 35, 166-167.

- 住 明正, 1987: ポンティアナック訪問記, 天気, 34, 723-724.
- , 1988, TOGA-SSG-VII報告, 天気, 35, 745-746 (708).
- 山中大学, 1986: 「MAP におけるレーダ技術発展と将来についてのワークショップ」の報告, 天気, 33, 431-434.
- , 1988: ポンティアナック訪問記(その2), 天気, 35, 687-688.

支部開設 35 周年記念シンポジウム開催のお知らせ

—シミュレーション・予測手法—化学産業への応用を考える—

主 催: 化学工学協会関西支部

協 賛: 情報処理学会, 日本化学会 近畿支部, 石油学会, 日本鉄鋼協会関西支部, 計測自動制御学会 関西支部, 人工知能学会, 土木学会関西支部, 日本気象学会, 日本材料学会関西支部, 応用物理学会関西支部

日 時: 1989年7月7日 (金)

会 場: 大阪科学技術センター 8階中ホール (大阪市西区靱本町 1-8-4. 交通: 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 北へ150m うつぼ公園北詰)

化学産業においては、分子設計、反応設計にはじまり、反応槽解析、成形加工設計、プラント診断、生産計画等々あらゆる業務分野で、シミュレーション・予測手法の開発が要請されており、最近のコンピュータ技術の大幅な進歩からそれが可能な時代になってきています。

このシミュレーション・予測手法は、人間社会を含む自然界の現象をどうモデル化し、予測を行うかという点で、経済、理学、工学をとわず共通した課題でもありません。

今回他の分野でシミュレーション・予測手法を研究されている第一線の先生方をお招きし、その考え方と手法をお話していただき、今後の化学産業あるいは化学・工学に携わっている幅広い皆様方のお役にたてるシンポジウムを企画致しました。

多数のご参加をお待ちしております。

プログラム

開会挨拶 (10:00~10:10)

関西支部長 (京都大工)

橋本 健治氏

- 分子設計、反応設計システムの開発と応用の実際 (10:10~11:20) (住友化学工業) 吉田 元二氏
 - 豪雨による表層崩壊の発生および流化・推積のシミュレーション (11:20~12:30)
(神戸大工) 沖村 孝氏
 - 気象分野における大循環モデル (13:30~14:40)
(東大理) 住 明正氏
 - 原子力発電所における設備診断技術について (14:40~15:50)
(発電設備技術検査協会) 高橋金四郎氏
 - エネルギー需給予測モデル (15:50~17:00)
(電子総合研) 柏原 紀氏
- <懇談・懇談会> 17:10~19:00

参加費: 主催・協賛団体会員 10,000 円, 会員外 15,000 円, 学生会員 2,000 円, 会員外学生 3,000 円 (共にテキスト1部代を含む)
懇親会費 3,000 円

参加申込締切: 6月20日 (火) 定員 100 名

申し込み方法 ハガキ大用紙に「シミュレーション・予測手法参加申込書」と題記し、①氏名、②勤務先 (所在地、電話、郵便番号)、③会員資格、④連絡先、⑤懇親会参加の有無を明記のうえ、参加費を添えて [現金書留または銀行振込 (協和銀行京町堀支店普通預金 No. 811344 社団法人化学工学協会関西支部名義) を利用] お申込ください。

申し込み先 〒550 大阪市西区靱本町 1-8-4

化学工学協会関西支部

TEL 06-441-5531 FAX 06-443-6685